

令和8年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	3	議席 番号	11	氏名	岩 村 恵 美 議員	1 / 1
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1 災害時における大型商業施設等のインフラ安全対策について				本年7月に発生した熊本地震において、大変ショッキングな光景を目にした。地震発生後に、熊本県内の商業施設において、LPガスに起因する可能性の高い大規模な爆発事故が発生し、7人もの尊い命が失われた。 経済産業省などの調査によると、この事故の原因は、自動遮断弁の先にある「ガス配管」の破損からLPガスが、じわじわと漏れ出し、開口部のない、いわばインフラの死角にガスが滞留したこと、そこに何らかの着火源が重なった可能性が高いと指摘されている。そこで以下伺う。 (1) 富士宮市内にある不特定多数の人が利用する大型商業施設や学校、病院等第一種保安物件におけるガス設備の安全確認及び緊急点検の実施状況について伺う。 (2) 経済産業省がガス供給事業者へ要請した「ガスが滞留するおそれがある場所におけるガス漏れ警報器等の設置」について、市は管内施設に対してどのように情報共有や指導を行うのか。 (3) 震災発生時、利用客や従業員の安全確保（建物の安全確認ができるまでの避難誘導体制）に関する防災協定の見直しについて、市当局の見解を伺う。		市 長 副 市 長 教 育 長 関係部長
2 市民プールの現状と今後について				富士宮市民プールは1991年7月7日にオープンして以来、市内外から多くの来場者に恵まれており、昨年は7月、8月だけでも約5万人が訪れている。 近年は35年が経過し、老朽化による改修工事も行われている。今年度は安全面を考慮し全チューブスライダー、半チューブスライダー、直線スライダーの全てのスライダーについて利用を休止した。そこで以下伺う。 (1) 令和8年の7月、8月の屋外プールの利用状況を伺う。 (2) 今年度の利用状況をどのように捉えているのか。 (3) 運営における一番の課題は何か伺う。 (4) 平成27年から令和6年度までの改修工事にかかった費用の総額について伺う。 (5) 今後の対応と方針について、スライダーを修繕して再開するのか、撤去するのか。あるいはプール全体の改修計画を立てるのか、市当局の方針を伺う。 (6) スライダーの修繕、または撤去、更新にかかる概算費用はどの程度を試算しているのか伺う。 (7) いつまでにどのような基準（費用対効果など）で判断をするのか伺う。		市 長 副 市 長 教 育 長 関係部長